

# 令和7年度都市科学部運営諮問会議 令和7年度に係るコメント集計結果

## 【1】都市科学部における学生の受入れ

1. 適切に学生受入が実施され、入学定員と実入学者数との関係が適切でしょうか？

段階： 3. 75	①まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である
--------------	-------------------------------------

コメント：

○入試倍率も順調に確保されており、オープンキャンパス等も効果的に展開されていると思います。  
○オープンキャンパスなどにもしっかりと取り組まれており、志願者数、受験者数は確保されていると考えられます。

## 【2】都市科学部における教育

1. 都市科学部の特色が反映された教育が行われているでしょうか？

(1) ①グローバルとローカルの接点としての大都市、②リスク共生、③イノベーションを重視した教育が行われているでしょうか。

段階： 3. 75	①まったく行われていない ②不十分である ③行われている ④非常によく行われている
--------------	---

コメント：

○弊社沿線において外国籍の方の流入が増加していることから、外国人との共生について検証を始めております。  
グローバルとローカルの接点としての大都市については、とても良い教育であると考えます。  
○特色が反映された教育が十分展開されていると思います。今後、さらに文理融合の効果が高まることを期待しております。  
○独自色ある教育が行われており、文理にわたる幅広い視点から物事を多角的に捉え、各種の課題に対してベストミックスを創造できる資質や能力の育成が図られていると思います。

(2) 分野横断型の教育が積極的に推進されているでしょうか。

段階： 3. 5	①まったく推進されていない ②不十分である ③推進されている ④非常によく推進されている
-------------	--

コメント：

○十分に推進されているように思います。多くの学科の学生が参加できるイベントも増えてきているようですので、一層、それらが盛り上がることを期待しております。  
○都市科学 ABCS シラバスなど、分野横断型の取組が進化しながら積極的に展開されていると思います。

(3) グローバル人材の育成に積極的に取り組んでいるでしょうか。

段階： 4. 0	①まったく取り組んでいない ②不十分である ③取り組んでいる ④非常によく取り組んでいる
-------------	--

コメント：

○ユネスコをはじめとする国際機関との取組について、よく理解できました。  
 ○学生さんの海外経験の充実が素晴らしいと思います。今後も積極的に展開いただければと思います。  
 ○海外派遣プログラムなど、グローバル人材の育成に必要な取組が積極的に展開されています。今後もソクラテスプログラムなどによる交流機会の増加で、さらに深化していくことが期待されます。

(4) かながわ・ヨコハマをフィールドとした実践的な教育に積極的に取り組んでいるでしょうか。

段階： <b>3. 7 5</b>	① まったく取り組んでいない ② 不十分である ③ 取り組んでいる ④ 非常によく取り組んでいる
----------------------	--

コメント：

○追浜プロジェクトについて、弊社ではいずみ野線の駅前再開発において、各駅の特徴を生み出すことを重視してきました。人を呼び込み、滞在してもらうための仕掛けづくりが重要だと考えます。  
 他社事例ではありますが、日ノ出町地区再開発における水辺や桟橋の活用は印象的であり、参考になる事例だと感じました。今後は、収益面への踏み込みや、自然との共生の視点も重要であると考えます。  
 ○模型の展示やまちづくりの意見コンテストなど多彩に取り組まれていると思います。今後も実践的な取り組みの展開に期待しております。  
 ○地域に根差した実践的な教育・活動が、学生の自主性を尊重しながら積極的に展開されています。引き続き、こうした取組を継続していただきたい。

(5) フィールドワーク（含むオンライン）を取り入れ、理論と実践の接合をしているでしょうか。

段階： <b>3. 7 5</b>	① まったく接合していない ② 不十分である ③ 接合している ④ 非常によく接合している
----------------------	---

コメント：

○見学等を含め、フィールドワークは大変充実していると毎回感じております。予算や引率など、難しい事情もあると思いますが、今後もぜひ継続していただければと思います。

### 【3】その他

1. 教育課程に対応した設備・施設等が十分整備され適切でしょうか？

段階： <b>3. 0</b>	① まったく適切でない ② 不十分である ③ 適切である ④ 非常に適切である
--------------------	---

コメント：

○W i f i 環境について、学生さんの少数意見とはいえ気になるところです。大学・学生の双方にとってバランスのいい形で落ち着ければ、と思います。  
 ○各種施設・設備の老朽化も懸念される中、環境整備及び建物等補修・保守費は少ないと考えられ、今後、支援を含む財政的な強化が必要となってくるのではないかと思います。

2. 財務基盤は適切でしょうか、また、管理運営体制（事務組織も含む）が適切に整備されているでしょうか？

段階：	① まったく適切でない ② 不十分である ③ 適切である ④ 非常に適切である
-----	---

コメント：

○健全な状態にあると思います。確実な財務基盤のもと、教職員の皆様が充実して働かれていることが、学生たちにとっても大切なことと思います。

### 3. 外部評価の体制が整備され、機能しているでしょうか？

段階：

3. 2 5

①まったく機能していない ②不十分である ③機能している ④非常によく機能している

コメント：

○新しい運営諮問委員も多く参加され、新しい視点が加わるが大変期待されます。会議も毎回丁寧に進めていただき、ありがとうございます。

○適切な情報が提供され、疑問点についても明確な回答をいただいています。

### 4. ダイバーシティに配慮した取り組みを行っているでしょうか？

段階：

3. 7 5

①まったく行われていない ②不十分である ③行われている ④非常によく行われている

コメント：

○文理融合の効果が大きく、大いに進んでおられるように認識しております。今後も積極的な取り組みを進めていただければと思います。

○各種のカリキュラムがダイバーシティに通じるカリキュラムになっていると思います。

全体を通して、ご意見・ご提言がございましたら、ご記入をお願い致します。

○この度、初めて会議に参加させていただきましたが、多岐にわたる取り組みを展開されており、大変感銘を受けております。

先生方の多大なご尽力の賜物であると拝察し、深く敬意を表します。

○都市設計プロジェクトのリーダーとして次世代を担う人材の育成がカリキュラムに組み込まれており、貴学の教育理念の高さを知ることができました。またダイバーシティを意識した大学のあり方は日本のインクルーシブ教育のあり方に一石を投じるものだと感じております。

大学、義務教育段階と比較して、高等学校における変革が一步で遅れているのかと感ずることもしばしばあります。私学無償化や少子化の波に流されることがないように、貴学のような先進的な大学に学ばせていただき、教育改善に励みたいと改めて感じました。

○今回も会議に学生さんが参加され、発表して下さいました。ああいった形で学生さんの表情や意に触れられると、大学でどういう学びを得ているのか、どういう生活を過ごしているのかを感じることができ、委員として参考になります。今後もぜひ、（もちろん授業等を優先にさせていただいて）学生さんの参加を継続していただければと思います。

○地域課題実習やフィールドワーク、海外派遣支援など、講義だけでない、人材育成に関わる様々な取組が展開されており、先生方や貴学部への熱意が感じられます。学生アンケート結果でも非常に高い評価となっており、こうしたことから貴学部の志願者が増加しているのではないかと思います。引き続き現在の取組を継続し、実践的な人材の育成が図られていくことを期待しています。